

本施工要領書は、モジュール1枚に対して金具6個で固定することを想定し作成しております。
モジュール1枚に対する金具の固定数は、設置案件により異なりますので事前にご確認下さい。

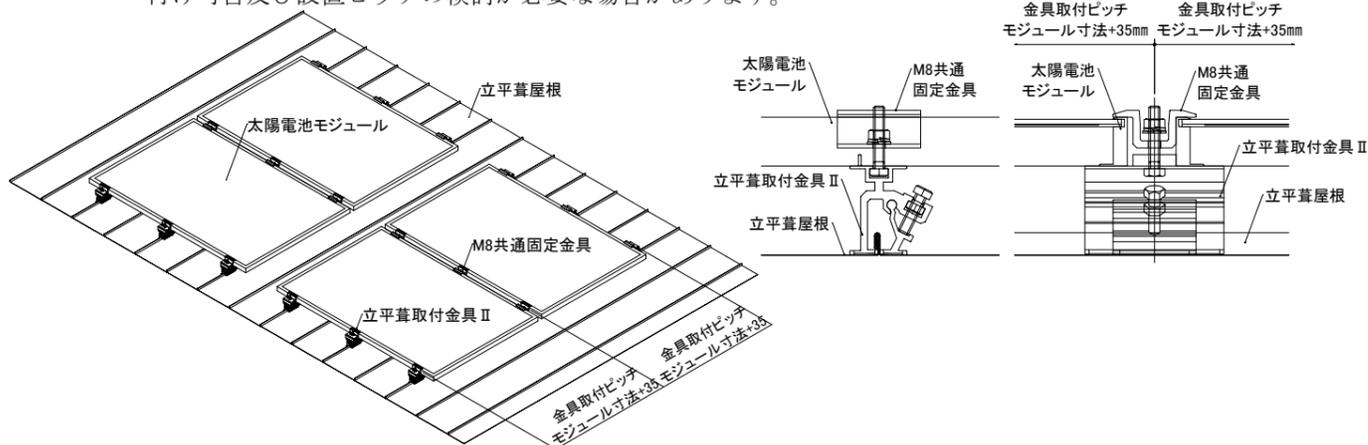
2. 施工手順

2-1. 立平葺取付金具Ⅱの設置

2-1-1. 立平葺取付金具Ⅱの設置位置

立平葺取付金具Ⅱの設置ピッチは、基本的には流れ方向がモジュール寸法+35です。下図設置例を参考に墨出しを行ってください。

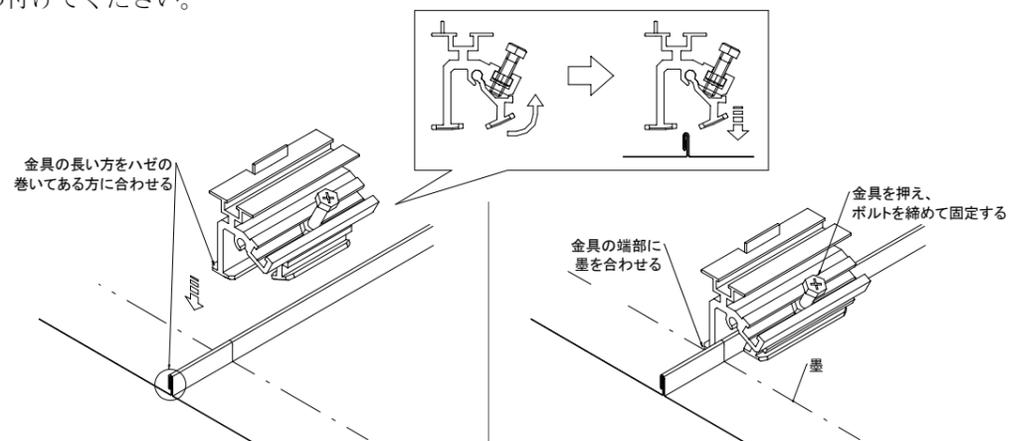
※設置するモジュールのフレームに突起がある場合やフレームが複雑な形状をしている場合には、取り付け可否及び設置ピッチの検討が必要な場合があります。



2-1-2. 立平葺取付金具Ⅱの設置

立平葺取付金具Ⅱの側面のボルトをゆるめて金具を開き、立平葺屋根のハゼをくわえさせてから墨出し位置に合わせ、側面のボルトを締め付けて固定します。この時、ハゼを巻いている側に、金具の長い方がくるように取り付けてください。

ボルト締め付けの振動等によって金具が墨出位置からずれないように、しっかりと押さえながらボルトを締め付けてください。

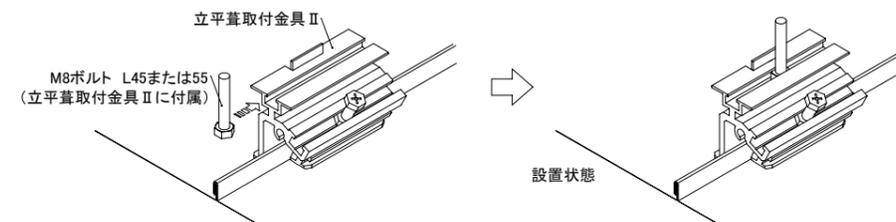


注意

- 立平葺取付金具Ⅱの側面のボルトの締め付けトルクは、11～13(N・m)としてください。
- 締め付け不足の場合、立平葺取付金具Ⅱのずれ・落下・飛散の原因となる恐れがあります。
- 既設屋根のハゼ締め状態により取り付けできない場合があります。
- 立平葺取付金具Ⅱの取り付け向きに気をつけてください。

2-2. ボルトの設置

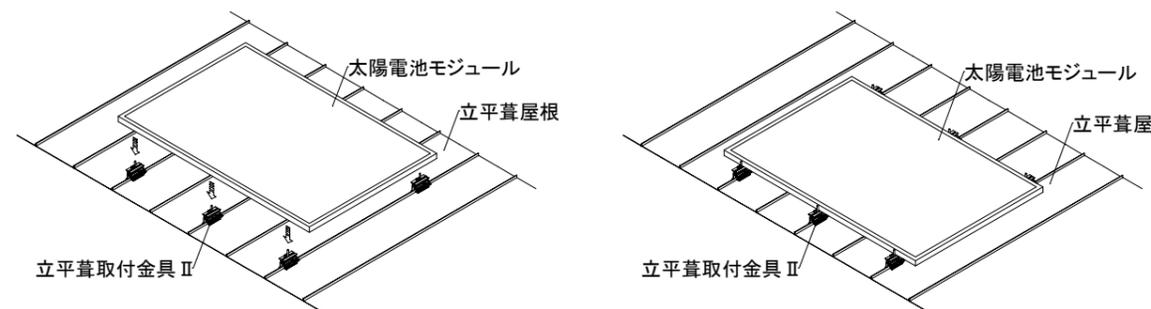
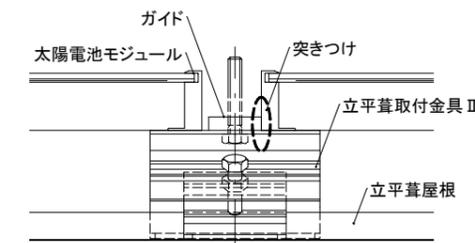
立平葺取付金具Ⅱのレール部に付属のボルトを取り付けます。



2-3. モジュールの設置（仮置き）

立平葺取付金具Ⅱの上部ガイド間にモジュールを落とし込み仮置きします。

モジュールの水下側又は水上側いずれか一边を立平葺取付金具Ⅱのガイドに突き付け、もう一边を立平葺取付金具Ⅱのガイド内に落とし込むようにしてください。

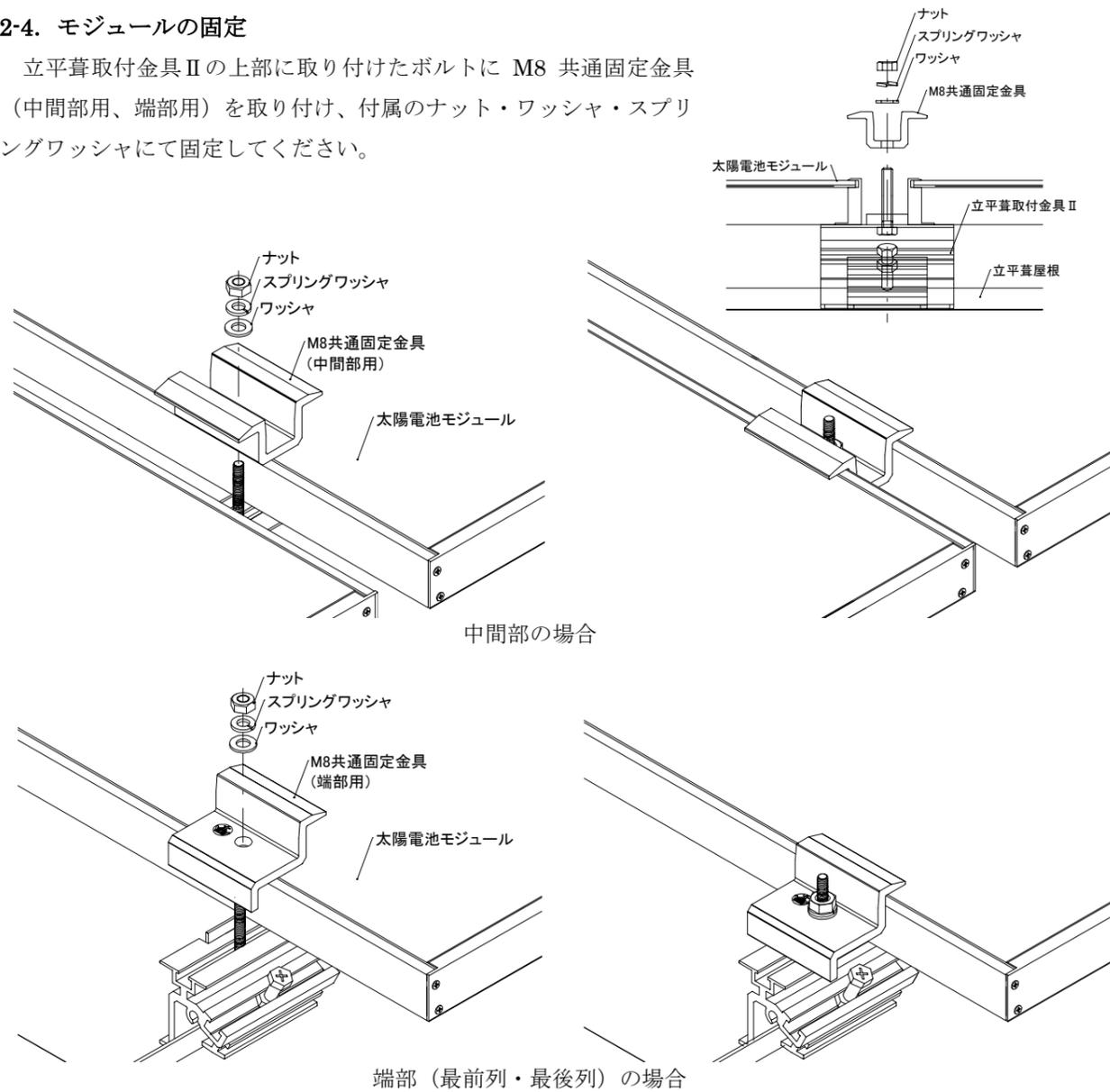


注意

- モジュールを設置する際に、立平葺取付金具Ⅱのボルト等によりモジュール裏面を傷付けないようにしてください。
- モジュールを設置する際に、配線の挟み込みには注意してください。

2-4. モジュールの固定

立平葺取付金具Ⅱの上部に取り付けたボルトに M8 共通固定金具（中間部用、端部用）を取り付け、付属のナット・ワッシャ・スプリングワッシャにて固定してください。



⚠ 注意

- ・モジュールと立平葺取付金具Ⅱのガイドに 4mm 以上の隙間がある場合は、モジュールを取り外し、立平葺取付金具Ⅱの位置を調整してください。
- ・M8 共通固定金具の締め付けトルクは、8 ~ 10(N・m)としてください。

2015 年 12 月版 TRMPVR105

発行：元旦ビューティ工業㈱
〒252-0804
神奈川県藤沢市湘南台 1-1-21

 元旦ビューティ工業株式会社

施工要領書

登録品目コード
(SC415, SC416)

元旦 PV 取付金具シリーズ

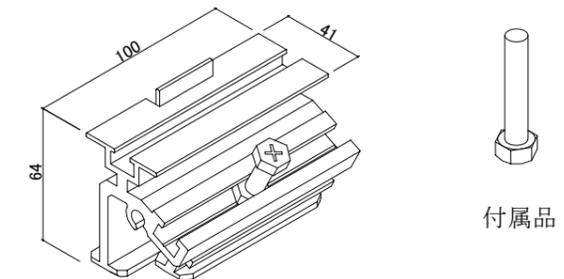
(立平葺取付金具Ⅱ)

このたびは、立平葺取付金具Ⅱをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
製品を正しく安全に施工していただくために、この施工要領書をよくお読みください。

1. 立平葺取付金具Ⅱ部材

①立平葺取付金具Ⅱ（付属品：M8 ボルト L45 または 55）

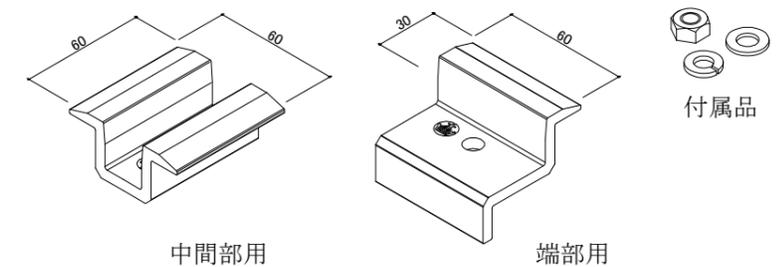
アルミ押出型材



②M8 共通固定金具

（付属品：M8 ナット・ワッシャ・スプリングワッシャ）

アルミ押出型材



※立平葺屋根のハゼ形状によっては、立平葺取付金具Ⅱが使用できない場合があります。

下図のような場合に限り施工可能です、必ず施工前にハゼ形状を確認してください。

